



下水道の公共工事

町発注工事地元優先の考えは
地元業者優先が基本姿勢



平出 英夫 議員

質問 今年度、町発注で予定されている清泉荘ディスプレイセンターと本郷保育園建設の工事発注で、地元業者優先の考えは。

答弁 公共事業の入札参加指名の業者請負選定は、地元業者優先が基本姿勢です。ただ、コスト高解消のために、ある程度の競争力が求められています。

景観 独自の条例化は

県の動向をみたい



小林 市子 議員

質問 建築基準法等の改正で建ぺい率と容積率の制限がきつくなつた。しかし高さ制限等は、ガイドラインとして示されているだけで、条例として定められていない。

町景観形成基本計画が策定されているが、これらを町独自の条例として盛り込む考えはあるか。

合併浄化槽設置義務化は
当面義務化はしません

答弁

条例化は必要と考
えます。

県で検討中の土地利用基本条例、風景育成条例、森林づくり条例の条例化の後に、町独自の条例化を考えていきます。

答弁

管理不十分の場合

質問 富士見町環境保全条例を見直して、別荘地域内で合併浄化槽設置の義務化をする考えはあるか。また下水道整備の可能性はあるか。

は、その浄化機能が失われかえって影響が大きい
ため、当面義務化はしません。下水道整備は、膨大な費用が必要のため、費用の問題が解決できれば下水道整備が一番良いと
考えています。

農薬の適正使用は
信頼の確保が必要



小池 一夫 議員

質問 農薬の適正使用と残留農薬の検査方法は。

答弁 食の安全と安心は、消費者意識の高まりの中で、信頼の確保を是非やっ
つていかななくてはならないと考えています。
農薬の適正使用については、町・県・農協が一体となつて啓蒙の活動をして
います。
残留農薬の検査方法については、農協がその検査機器を設置していく予定となつて
います。

遊休地の有効利用は

仲介で効用化を図る

質問 耕作者の高齢化などから農地の遊休地が目立つが、土地利用で簡便な貸借はできないか。

答弁

簡便な貸借は、難しい状況です。

町・農協が遊休農地の仲介をして効用化を図っているのが現状です。